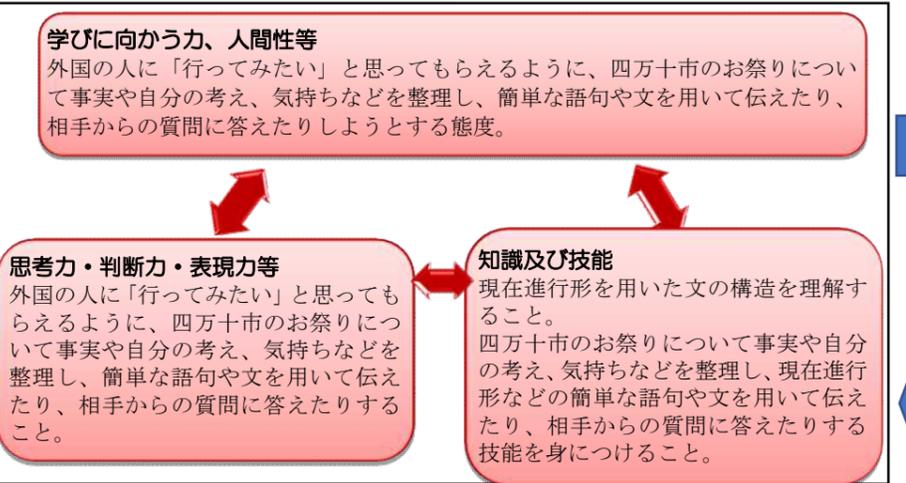


研究主題 「深い学びの実現に向けた学習過程の工夫」～数学科を軸とした各教科における見方・考え方を働かせた授業づくりを通して～

単元を貫く問い Let's be a good guide of Shimanto festivals. ガイド・旅行者それぞれの目的達成のために、ガイドと旅行者がやり取りする場面で、四万十市のお祭りについて事実や自分の考え、気持ちを相手に伝え合う。

**この単元と関連した領域の付いている力(◆)と内容(・)**  
 (学習指導要領) 話すこと【やり取り】  
 ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。  
 (CAN-DO リスト) 話すこと【やり取り】  
 身近な話題について、自分の考えや気持ち、身の回りの出来事等を、聞き手を意識して、その話題に関して1分程度の会話を続けることができる。  
 【第6学年】  
 ◆動作を表す語を身につけ、身の回りの人を紹介する。  
 ◆日本の文化や行事、自分の町を紹介する。  
 【第1学年】  
 ◆自己紹介をすることができ、また、関連する質問に答えることができる。  
 ・Program2 ウッド先生がやってきた  
 ◆おすすめの商品を説明し、相手からの質問に答えることができる。  
 ・Program8 Origami

**本単元の目標**



**この単元からつながっている領域の力(◆)と内容(・)**  
 【第2学年】  
 ◆ジョブインタビューの場面で1分間の自己PRをし、面接官の質問に答えることができる。  
 ・Program6 A Work Experience Program  
 ◆ディベートで、説得力のある意見を伝え、相手からの反論に応えることができる。  
 ・Program10 So Many Countries, So Many Customs.  
 【第3学年】  
 ◆「スーパーエージェント」として、おすすめ旅行プランを売り込み、お客さんからの質問に答えることができる。  
 ・Program5 Sushi-Go-Around in the World  
 ◆社会的な話題について、ディベートをすることができる。  
 ・Program9 Education First.

**生徒の実態と指導観**  
 本学級の生徒は、素直で明るく学習に取り組める。「自己表現活動に積極的に取り組む」というアンケートでは、81%の生徒が肯定的回答をしている。11月に行った「自慢の商品を売り込もう」という活動では全生徒がB評定以上であり、準備や心構えがあると一定の発話は行えるが、即興性や相手に質問する力には課題が見られる。本単元のゴールは、言語活動を通して、話すこと「やり取り」の力を身につけることである。現在進行形が自然に使われるであろう、写真や動画を描写する言語活動を通して、まとめ(事実や考え、気持ち)のある英文を構築し、相手に説明し、やり取りをする力を育成する。単元を通して、話すトピックやシチュエーションを変えながら、同じような言語活動を繰り返すことで、この単元で有効な表現に慣れさせ、単元の終末では、即興的に考えをまとめ、1分程度のやり取りが継続できるようにさせたい。

**言語活動**

話すこと【やり取り】  
 ピクチャーチャートを使い、教科書の本文を読み、引用するなどして、自分の考えなどを伝え合う。

話すこと【やり取り】  
 ある写真について、お互いに質問したり、答えたりするなどして自分の考えや気持ちを伝え合う。

話すこと【やり取り】  
 四万十市のお祭りについて、事実や考え、気持ちなどを伝え、相手からの質問に回答するなどしてやり取りを継続する。

単元を通しての帯活動：四万十市をトピックにした Small Talk

〈2時間〉  
**【第1時】**  
 ・四万十市のお祭りをガイドするという単元ゴールを知り、単元の見通しを持つ。  
 ・わかりやすく描写する力をつけるために、Program9の教科書の内容について、ピクチャーチャートを使って、現在進行形も含めて、ペアでやり取りする。  
 ・発話したことをノートに記述する。  
 <発話例>  
 S1: Who is this?  
 S2: He is Jim.  
 S1: What is he doing?  
 S2: He is brushing his teeth.  
 S1: How old is he?  
 S2: Maybe he is 45 years old.  
**【第2時】**  
 ・より詳しく描写したり、情報を付け加える力をつけるために、既習の教科書の内容について、ピクチャーチャートを使って、現在進行形も含めて、ペアでやり取りする。  
 ・発話したことをノートに記述する。  
 <発話例>  
 S1: Who is this?  
 S2: He is Daisuke.  
 S1: What is he doing?  
 S2: He is showing Noa-chan.  
 S1: Who is Noa-chan?  
 S2: She is an origami doll.  
 The name comes from NOA.

〈3時間〉  
**【第3時】**  
 ・ALTの行きたい国について[Small Talk]  
 ・聞き返したり、質問する力をつけるために、写真や動画で見た場面について、必要な情報や表現を即興で思考し、伝え合う。  
 ・ペアを変えて複数回行い、いろいろな考えを知る。  
 <発話例>  
 S1: Look at this picture.  
 You can see a baby.  
 He is reading a newspaper.  
 And he is angry.  
 S2: Why is he angry?  
 S1: I think it's because he can't read the newspaper.  
**【第4・5時】**  
 ・自分が伝えたいと思うお祭りや行事について、写真やメモを用いて、ペアでやり取りする。  
 <聞き手に配慮して、即興でまとまりのある英文で状況を伝え合い、質問し合う。>  
 ・自分の意見を伝えたり、感想を述べ合う力をつけるために、写真や動画で見た場面について、必要な情報や表現を思考するとともに、聞き手に分かりやすい表現方法を工夫する。  
 ・聞き手は、発表の内容に関して、感想を述べたり、さらに詳しく知りたいことなどを質問する。  
 <発話例>  
 S1: Look at this picture.  
 S2: What is this?  
 It's a Tomato festival.  
 S2: What are they doing?  
 S1: They are throwing tomatoes.  
 They are fighting with tomatoes.  
 S2: Why tomatoes?  
 S1: Because  
 ...  
 1分程度、会話を継続させる

〈1時間〉  
**【第6時】【本時】**  
 ・旅行者のニーズに応じて、四万十市にあるお祭りをガイドする。  
 <発話例>  
 S1: Excuse me. Please tell me the festivals in Shimanto.  
 S2: What do you want to know?  
 S1: I like fireworks. Do you have a fireworks festival?  
 S2: Yes. We have it in August. Please look at the picture.  
 S1: Ok. What are they wearing?  
 S2: They are wearing "yukata".  
 S1: "Yukata"? What is it?  
 S2: It's Japanese style clothes.  
 S1: Great! .....

**評価規準**

【知・技】  
 ・既習表現を活用して、事実や自分の考えを伝え合う技能を身につけている。  
 ・現在進行形を用いた文の構造を理解している。  
 (形成的評価)

【知・技】  
 ・既習表現を活用して、事実や自分の考えを伝え合う技能を身につけている。

【思】 話す内容を整理し、分かりやすく伝え合っている。  
 【主】 事実や自分の考えを伝え合おうとしている。  
 ☆本時の評価に加え後日パフォーマンステストを実施する。

**見方・考え方を働かせるための生徒の姿**

・伝えるものに応じて、主語や動詞を適切に選んでいる姿。  
 ・場面を描写するため既習表現を想起している姿。

・写真を描写するのに必要な情報を集め、適切な表現を選び、語順を意識している姿。  
 ・自分と他者のとらえ方や表現の違いに気づき、質問をして相手の見方を知ろうとする姿。

・相手に分かりやすく表現するために、文の構成や表現を工夫しようとする姿。  
 ・対話を継続・発展させるため、また自分の知りたい情報をさらに得るために、相手の情報の要点を捉え、感想を述べたり質問したりしている姿。

【本時の目標】 四万十市のお祭りについて、既習表現を活用して、伝える内容を整理し、自分の考えや思いを伝えたり、相手の考えを引き出し、まとまりのある英文で1分程度のやり取りができる。(本時 6/6)

【本時の外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方】 構成や表現に工夫して相手のニーズに応じて分かりやすく伝えたり、自分の知りたい情報を引き出すために、相手の情報の要点を捉え、適切に質問したりして、やり取りを継続する。

<p><b>問題</b> Let's be a good guide of Shimanto festivals.</p>	<p>1st Summer / fireworks festival / beautiful /</p>	<p><b>まとめ</b> 話したことをもとにして書く。</p>	<p>◎深い学びの実現に向けた「問題」と「めあて」の工夫 問 題：Let's be a good guide of Shimanto festivals. めあて：相手のニーズに応じて、情報を分かりやすく伝え、ガイドしよう。 聞き手は友だちに伝えるために、たくさんの情報を聞こう。 工夫点：四万十市のお祭りをガイドするために、世界の文化や行事をヒントにしなが、他教科で学習したこと等を活用してガイドと旅行者役になり伝え合う言語活動を設定した。また、旅行者とガイド役それぞれに目的をもたせることで伝え合う必然性をもたせた。</p>
<p><b>めあて</b>めあて：相手のニーズに応じて、情報を分かりやすく伝え、ガイドしよう。 聞き手は友だちに伝えるために、たくさんの情報を聞こう。</p>	<p>2nd ○Starting I recommend~ / I will tell you about~/My No.1 festival is ~ / We have ~ ○Body We have~ / It has~ / You can~ / They are ~ing / Do you ~ ○Ending Please enjoy. / Please go to the festival.</p>	<p><b>振り返り</b> 分かりやすく伝えるために工夫したこと。</p>	<p>◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て 本時では、相手のニーズに応じて、四万十市のお祭りをガイドする活動を行う。前時では世界の文化や行事を紹介し、ガイドに必要な表現を知った。目的・場面・状況を明確にし、相手を変えながら言語活動を行うことで、相手に応じた情報や表現を整理し、再構築させたい。旅行者側はガイドから聞いた情報の要点をとらえ、自分のニーズを伝えながら、やり取りを継続させる。</p>
<p>語順カード</p>	<p>疑問詞カード what who when why where which how many</p>		



<p>○Introduction ・教師とALTがカナダのお祭りについてやり取りする。</p> <p>T: Please tell me about some festivals in Canada. ALT: OK. What do you want to know? T: I want to know famous festivals in Canada. ALT: Look at the pictures. T: What are they doing? ALT: They are enjoying Niagara falls. T: Beautiful. Where is it? ALT: It's near Toronto. T2: .....</p> <p>・良いガイドには何が必要か考え共有する。 (・詳しい情報・相手のニーズを引き出す質問・分かりやすく伝える表現や言い換えの言葉) ・聞き手に必要なことを確認する。</p> <p>○本時のめあての提示 T: So, now you know "What is a good guide?" Then, Today's goal is ...</p> <p>めあて：相手のニーズに応じて、情報を分かりやすく伝え、ガイドしよう。 聞き手は友だちに伝えるために、たくさんの情報を聞こう。</p>	<p>○1st Try (旅行者役の生徒に情報カードを渡す。)</p> <p>①時間内に数名とやり取りを行う。 ②中間評価</p> <p>T: Who is a good guide? S: (名前). T: Why do you think so? S: Many information./ Clear voice./ Good question. T: (名前) . Can you be a guide here? ...</p> <p>S1: Excuse me. Please tell me the festivals in Shimanto. S2: What do you want to know? S1: I like fireworks. Do you have a fireworks festival? S2: Yes. We have it in August. Please look at the picture. S1: Ok. What are they wearing? S2: They are wearing "yukata". S1: "Yukata"? What is it? S2: It's Japanese style clothes. S1: Great! .....</p> <p>T: He has a lot of information, nice questions. So, then let's try one more time. Before that, let's check unclear words.</p> <p>・Unclear Words の共有</p>	<p>・役割を交代する。</p> <p>○2nd Try ①時間内に数名とやり取りを行う。 ②中間評価 (分かりやすかった表現) ・良いガイドの表現と good questions を共有する。 ・相手意識ができていたかどうかを確認する。 ・生徒数名が発表する。</p> <p>○Starting I recommend~ / I will tell you about~ My No.1 festival is ~ / We have ~ ○Body We have~ / It has~ / You can~ They are ~ing / Do you ~ ○Ending Please enjoy. / Please go to the festival. Let's go to the festival.</p> <p>○3rd Try ①参観者とやり取りを行う。 ・参観者からのフィードバックをもらう。(内容面や表現に特化してコメントをもらう。) ②フィードバックを全体でシェアする。</p>	<p>○Conclusion ・友達に伝えるための英文をノートに書く。</p> <p>I recommend a famous festival in Shimanto. It is a fireworks festival. It is in August. It is near Akatekkyou, red bridge. We can watch beautiful fireworks there. And, we can enjoy Japanese food. But, it is expensive. In the festival, some Japanese people wear 'yukata'. It is cute. Let's go to the festival.</p> <p>○Reflection ・良いガイドになるために工夫した表現をノートに書く。 ・たくさんの情報を得るために工夫したところをノートに書く。</p>
---	---	---	---

<p>&lt;指導上の留意点&gt; ・相手のニーズに応じて、伝える内容や表現を変える必要があることに気づかせる。</p>	<p>&lt;指導上の留意点&gt; ・質問の仕方やその後のやり取りに工夫が見られるペアに発表させる。 ・Unclear Words については、既習の表現ですできるだけ簡単な英語で言い換えをするよう促す。 ・語順を意識させる。</p>	<p>&lt;指導上の留意点&gt;</p>
---	--	------------------------

<p>評価規準</p>	<p>話す内容を整理し、分かりやすく伝え合っている。 【思考・判断・表現】</p>	<p>事実や自分の考えを伝え合おうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】</p>	
-------------	---	---	--

※ 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための実践研究事業においては、学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）に基づいた授業づくりを行っているため、育成すべき資質・能力の 3 本柱による目標及び評価を設定しています。